

学校経営グランドデザイン

さいたま市教育ビジョン

《本市の教育が目指す人間像》

世界と向き合い 未来の創り手として
輝き続ける人

《基本理念》

人生100年時代を豊かに生きる

『未来を拓くさいたま教育』の推進

- 12年間の学びの連続性を活かした「真の学力」の育成
- グローバル社会で活躍できる豊かな人間性と健全な体の育成
- 人生100年時代を輝き続ける力の育成
- スクール・コミュニティによる連携・協働の充実
- 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備

学校教育目標

**未来を拓き、
心豊かにたくましく
生きる力を育む**

基本方針
よさを見つけ
よさをみとめ
よさをのばす

行動目標
① 元気にあいさつ
② さし笑顔で元気いっぱい
③ きれいな学校

さいたま市教育アクションプラン重点事項

「未来を拓くさいたま教育」を推進する

「PLAN THE NEXT

3つのGで日本一の教育都市へ」

「Grit」やり抜く力で「真の学力」を育成すること

「Global」国際社会で活躍できる力を育成すること

「Growth」一人ひとりの成長を支え、「生涯学び続ける力」を育成すること



学校経営方針

- 1 よさを見つけ、認め、伸ばすことで、児童一人ひとりが達成感を味わえる教育活動を展開する。
- 2 教師の指導力の向上を図り、「アクティブ・ラーニング」の視点で、学び方が身につく授業実践に取り組む。
- 3 道徳教育・教育相談・特別支援教育等の取組から日常の指導と人間関係づくりに努め、心豊かな児童の育成を図る。
- 4 安心・安全で美しく整えられた教育環境づくりと、セーフコミュニティの取組を通じた「自助・共助」の意識の育成を図る。
- 5 コミュニティ・スクールの取組を通じて、学校・家庭・地域の連携・協働を深め、「オール大宮北小」の具現化を図る。

目指す児童像

◇進んで学ぶ子

- 教師の話をよく聴く。
- わかるまで、できるまで努力する。

◇思いやりのある子

- 共に協力し、感謝の気持ちをもつ。
- いじめや差別をしない、させない。

◇明るく元気な子

- 心のこもった挨拶ができる。
- 具体的なめあてにチャレンジできる。

目指す学校像

◇子どもたちが嬉々として登校し、
充実感に満ちて家路につく学校

◇笑顔にあふれる学校

◇日本一心のこもったあいさつが
できる学校



目指す教師像

◇子どもや保護者に寄り添う教師

- 児童理解に基づく教育活動を展開する。
- 常に児童とともに、児童の手本となる。

◇情熱と使命感をもち、信頼される教師

- 常に学び、教師力の向上に努める。
- 心身ともに健康で、協働性を発揮する。

本年度の努力点

(1) 確かな学力の向上

- ◆アクティブ・ラーニングの視点をもって「よい授業」の4つの因子を重視した学習指導を推進する。
- ◆教育的ニーズに応じた「けやき学習室」の活用を一層すすめる、交流・共同学習を推進する。
- ◆さいたま STEAMS 教育など、新しい教育課題への取組を積極的に推進する。
- ◆GIGA タブレットの効果的な活用を図り、家庭学習も含めた環境づくりに取り組む。

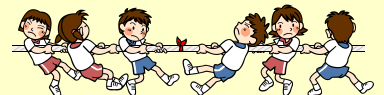


(2) 豊かな心の育成

- ◆よさを見つけ、よさをみとめ、よさをのばす、学年・学級づくりを目指す。
- ◆道徳教育の一層の充実を図り、多様性を認め合う心の教育を推進する。
- ◆PTAとの連携を更に強化し家庭・地域とともに心を育む教育を推進する。
- ◆いじめ、不登校の予防に努め、対応は迅速かつ組織的に行う。
- ◆子どもからのサインを見逃さず、「点から線、線から面」となるような校内体制を築くとともに、SC、SSW、さわやか相談員等と連携した心のサポートを推進する。
- ◆生徒指導委員会を核とした共通理解・共通行動を推進する。

(3) 健やかな身体の育成

- ◆夢中になって取り組む体育授業づくりと外遊びを推進する。
- ◆リフレッシュ工事下での運動機会確保に努め、朝運動の工夫と充実を図る。
- ◆活動の安全の確保をさらに重視し「事故0」を目指す。(ASUKA モデルの活用)
- ◆自助・共助への意識の向上を図り、「自分の命は自分で守る」という心構えを育てる。
- ◆アレルギー疾患等について保護者と連携した事故防止を推進する。



(4) 豊かなかかわり合いの育成

- ◆家庭・地域・児童会でのあいさつ運動を通じて、愛言葉「日本一心のこもったあいさつができる学校づくり」を推進し、誰に対してもあいさつできる心と態度を育む。
- ◆外遊びなどを通しての心のふれあいを育む。
- ◆地域や家庭との協働性を高め、諸活動をともに楽しむ意識で持続的な活動に取り組む。
- ◆心と生活のアンケートの有効活用と、教育相談の一層の充実及び家庭との連携強化を推進する。
- ◆学年を超えた児童同士のかわりを大切にする行事を推進する。

(5) 安全で潤いのある教育環境づくり

- ◆各マニュアルの理解の徹底により危機管理体制の一層の強化を図る。
- ◆施設・設備の日常点検を徹底し、安全で居心地のよい環境を整える。
- ◆ピオトープをはじめとする校内の植栽等、四季が感じられる潤いの環境づくりを推進する。



(6) 家庭・地域との連携の推進

- ◆SSNの拡充とボランティアからの支援を多様な教育的場で活かす。
- ◆計画的に個人面談、教育相談を実施し、児童の実態を多面的に把握して、保護者との共通理解を深め、協働性の構築に努める。
- ◆家庭と連携して学力向上と健全な生活習慣づくりを行う。
- ◆防犯ボランティアとの連携と情報交換を行う。
- ◆読み聞かせ等、家庭、地域の教育力を生かした図書ボランティアの充実を図る。
- ◆学校運営協議会を通じて地域の関係機関及び団体等との協働体制を整え、学校を核とした地域づくりを推進する。